

**編集後記：**巡り合わせて「天気」20世紀最終号の編集後記を任されることになりました。大気の流れにとってはおそらく何の意味もないこの区切りですが、学問は人間が人間のためにすることと思えば、一概にその意味付けを否定することもできません。

折しも、遺跡発掘ねつ造事件が学問の世界のみならず世の中に衝撃を与えています。この事件、現代科学の問題点の一端を明らかにしていることは確かですが、人間の弱さや迷いを乗り越え、自然科学は今日まで結局は常に科学的真理を明らかにしてきたという歴史的事実には自信を持ちつづけたいと思います。それを担保してきたのが、すべての人に開かれた議論であり、健全な相互批判の精神でしょう。そして学会の存在意義はそこにあるといっても過言でないでしょう。

「天気」の編集委員として、このように重要な学会活動を支える仕事の一端を担う機会を得ていることを光栄に思い、21世紀も「天気」がみなさんの間の討論を促すための場として大いに活用されることを望みます。

さて、私はこの大晦日は「第九」の演奏に参加して21世紀を迎えます。地球環境問題が人類にとっての最重要課題のひとつと位置付けられるに至ったこの世紀末、自然の恵みに感謝し、人類愛と比類のない世界の平和を願う「歓喜に寄す」の祈りが、今ほど痛切な時もないかもしれません。みなさんはどこでどのように新しい世紀を迎えられることでしょうか。よい21世紀を。

(山本 哲)



## 一覧表

教官（京都大学宙空電波科学研究所センター）の公募	850
平成13年宇宙環境利用に関する地上研究公募のご案内	862
「第42回科学技術映像祭」参加作品の募集	863
研究員（財団法人環境科学技術研究所環境動態研究部）の公募	863

## 「天気」編集委員会

編集委員長	新野 宏(理事)	地区編集委員	北海道 若原勝二・向川 均
編集委員	神沢 博(理事)・関口理郎(理事)	東北 小柴 厚・早坂忠裕	関東 河原幹雄・竹内 仁
	藤部文昭(理事)・石田純一	中部 永尾一平・井上長俊	関西 和田高秀・山中大学
	植田宏昭・小田切さやか	九州 金崎 厚・中島健介	沖縄 仲大安英
	大淵 濟・金田昌樹・川島正行	編集書記	遠藤和子
	木下 仁・小出 寛・小司禎教		
	佐藤晋介・住 明正・関山 剛		
	田口晶彦・高橋 宙・高山 大		
	寺坂義幸・中西幹郎・中村 尚		
	新村典子・板東恭子・別所康太郎		
	水野孝則・水野 量・山本 哲		